情報を知り、命を守る行動へ

近年、甚大な災害が各地で頻発しています。そこで、大雨による土砂災害の 危険性が高まった場合、市では土砂災害警戒区域(特別警戒区域)に在住の人 を対象に、避難情報(高齢者等避難、避難指示等)を発令します</u>ので、速やかに 立退き避難や、屋内安全確保等の避難行動をとってください。

1 米原市防災ハザードマップを使ってみよう

いざ災害が発生したときに、速やかに身の安全を考えて行動できるよう、あらかじめ防災ハザードマップを使って災害発生時の行動をシミュレーションしておきましょう。









あなたの家が土砂災害警戒区域に含まれているか確認し、大雨が降ったときは警戒しましょう。



枠で囲われているエリアは、 「土砂災害警戒区域」です。

「土砂災害警戒区域」に斜め線が 入っているエリアは、 「土砂災害特別警戒区域」です。



防災ハザードマップをお持ちでない人は、防災危機管理課、山東支所、各市民自治センターで受け取るか、上記の市公式ウェブサイトから閲覧できます。

2 「米原市防災アプリ」を利用して必要な防災情報を取得しましょう

「米原市防災アプリ」をインストールすると、市からの災害情報や各種関係機関の防災情報が受信できます。また、気象庁の「キキクル(危険度分布)」では大雨による災害発生危険度(土砂災害、浸水害、洪水害)を随時確認できますので、現在地から避難する必要があるか判断できます。



■気象庁キキクル(危険度分布)は下記の手順またはQRコードから閲覧できます



気象庁ウェブサイト キキクル(危険度分布) ▶

